

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第15週の発生動向

全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核9例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	咳
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、胸痛
			60歳代	女	骨結核	左股関節結核により歩行困難感
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			80歳代	男	肺結核	発熱、画像所見あり
		小林	80歳代	男	結核性胸膜炎	胸水貯留
		日向	70歳代	男	無症状病原体保有者	—

定点把握の対象となる5類感染症

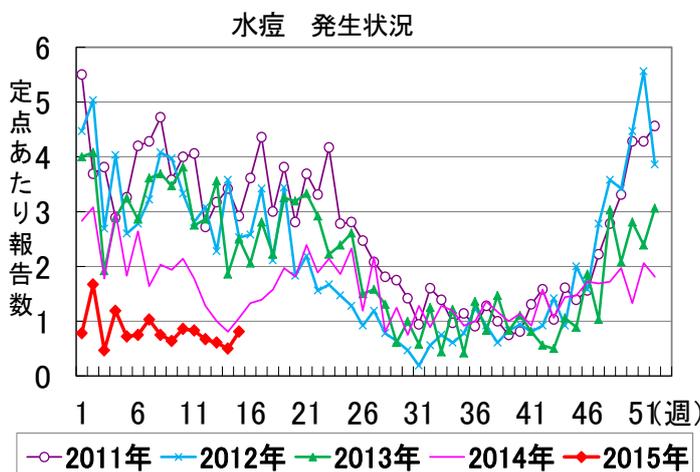
・定点医療機関からの報告総数は676人(定点当たり19.8)で、前週比84%と減少した。前週に比べ増加した疾患は水痘であった。減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

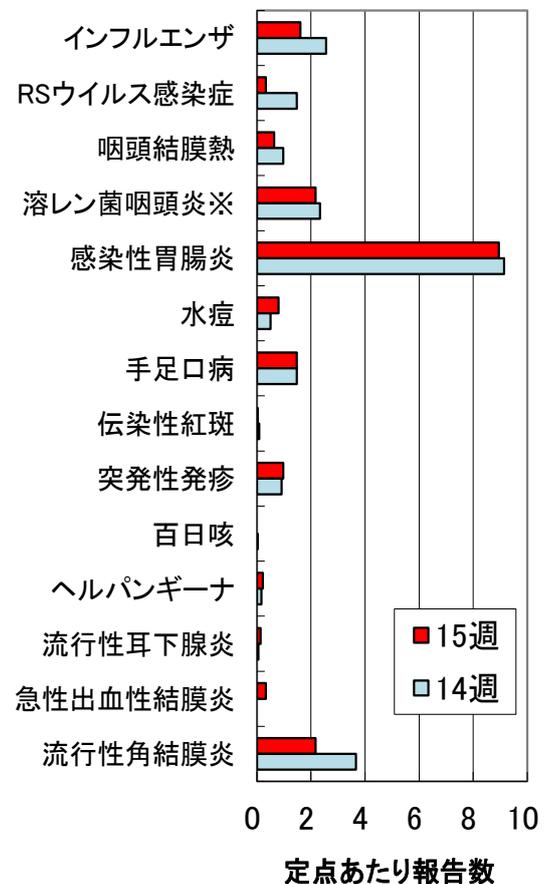
【水痘】

・報告数は29人(0.81)で、前週比161%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約0.3倍であった。中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



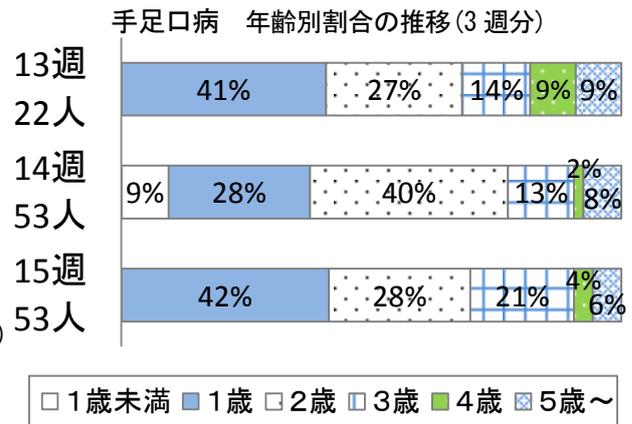
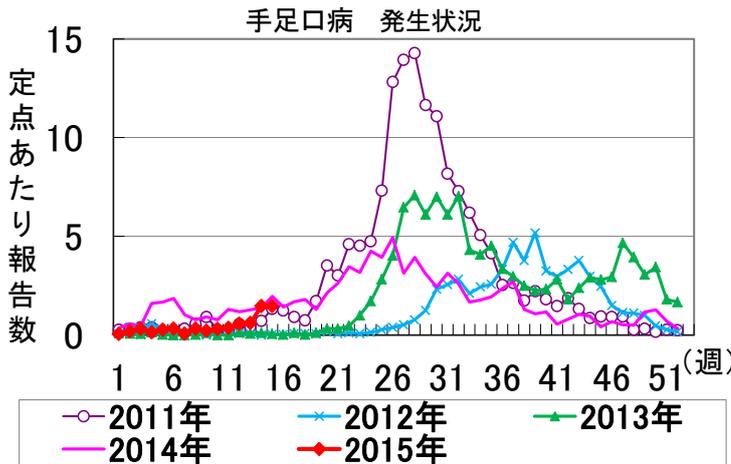
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

・報告数は53人(1.5)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(0.77)の約1.9倍であった。小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別はグラフ参照。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	手足口病(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・手足口病(5.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・水痘(4.0)

🌈 全国第14週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第14週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	282例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例	腸チフス	1例	パラチフス	1例
	E型肝炎	3例	A型肝炎	4例	チクングニア熱	1例
4類感染症	つつが虫病	1例	デング熱	8例	レジオネラ症	18例
	レプトスピラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例
	急性脳炎	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例	後天性免疫不全症候群	11例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	29例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	34例	播種性クリプトコックス症	1例
	風しん	1例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比91%と減少した。今週増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,707人(2.1)で、前週比79%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(1.6)の約1.4倍であった。鳥取県(5.1)、石川県(4.9)、山口県(4.1)からの報告が多く、年齢別では3~6歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は1,463人(0.46)で、前週比105%とやや増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(0.25)の約1.8倍であった。東京都(0.95)、福岡県(0.92)、埼玉県(0.88)からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第15週(4月6日~4月12日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	151	95	11	17	8	38	10	2		7	2
	定点あたり	2.56	1.61	0.69	1.70	1.14	7.60	2.00	0.33	0.00	1.17	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	53	12	2		6					4	
	定点あたり	1.47	0.33	0.20	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	23	4	1	6	4		1		7	
	定点あたり	0.97	0.64	0.40	0.17	1.50	1.33	0.00	0.25	0.00	1.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	84	78	20	21	11	3	1	6		15	1
	定点あたり	2.33	2.17	2.00	3.50	2.75	1.00	0.33	1.50	0.00	3.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	329	322	93	37	22	35	56	36	4	33	6
	定点あたり	9.14	8.94	9.30	6.17	5.50	11.67	18.67	9.00	4.00	8.25	6.00
水痘	報告数	18	29	4	7	5	2		4		1	6
	定点あたり	0.50	0.81	0.40	1.17	1.25	0.67	0.00	1.00	0.00	0.25	6.00
手足口病	報告数	53	53	15	7	1	2	19	6		1	2
	定点あたり	1.47	1.47	1.50	1.17	0.25	0.67	6.33	1.50	0.00	0.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	3	1						1			
	定点あたり	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	35	10	2	8	4	3	1		5	2
	定点あたり	0.92	0.97	1.00	0.33	2.00	1.33	1.00	0.25	0.00	1.25	2.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	8		7	1						
	定点あたり	0.17	0.22	0.00	1.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	5	2			1	1				1
	定点あたり	0.06	0.14	0.20	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.33	0.67	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	13	12		1						
	定点あたり	3.67	2.17	4.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週~15週)

2類感染症	結核	65例(9)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	3例	マラリア
					1例
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病
					1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
					1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症
					2例
	破傷風	1例			

()内は今週届出分、再掲

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2015年3月>

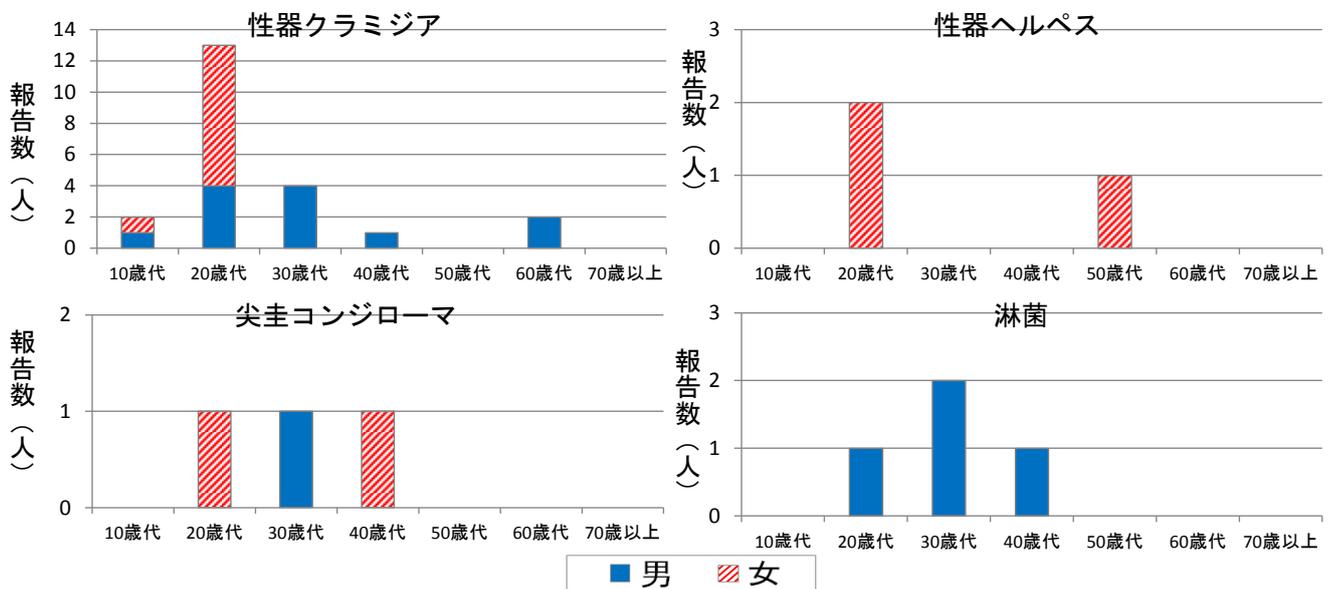
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比91%と減少した。また、昨年3月(1.9)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約0.8倍、昨年3月の約1.4倍であった。年齢別では20歳代が全体の約6割を占めた。
(男性12人・女性10人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の約0.8倍、昨年3月の1.5倍であった。
(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、昨年3月の3.0倍であった(前月報告なし)。
(男性1人・女性2人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.8倍、昨年3月の約0.7倍であった。30歳代が全体の半数を占めた。(男性4人)



【全国】 定点医療機関総数：965

定点医療機関からの報告総数は3,958人(4.1)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,950人(2.0)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症809人(0.84)で前月比114%、尖圭コンジローマ493人(0.51)で前月比106%、淋菌感染症706人(0.73)で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で前月比62%と減少した。また昨年3月(4.0)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約0.6倍、昨年3月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,622人(3.4)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,452人(3.1)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症153人(0.32)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症17人(0.04)で前月比100%であった。